

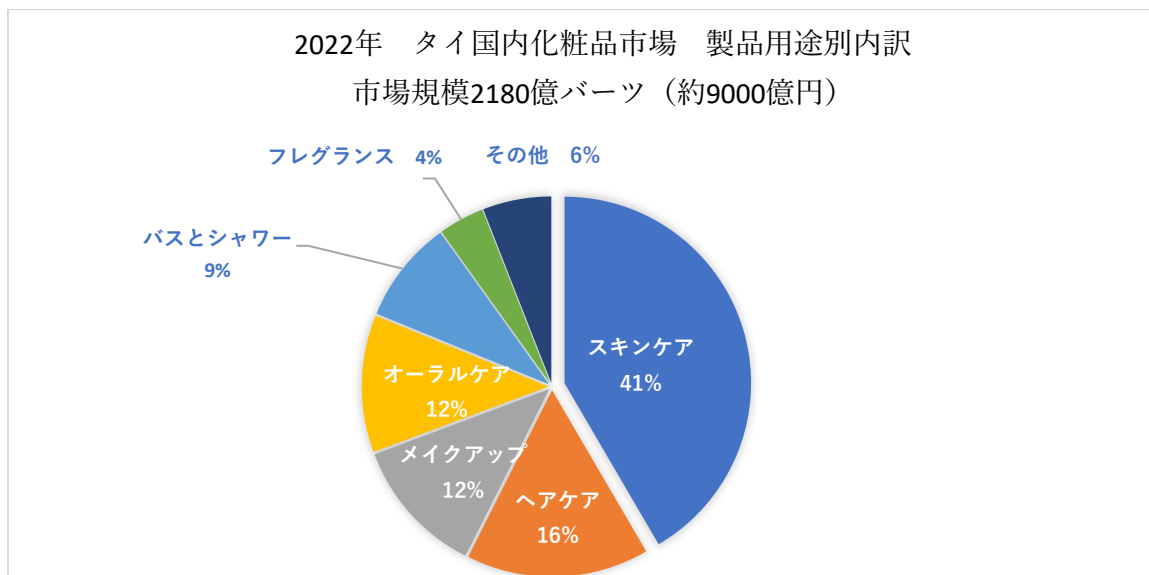
タイの女性向け消費財の動向②

今月はタイの主な女性向けの消費財市場の中でも特に注目度の高い化粧品分野の動向を見ていきます。タイの化粧品市場は2014年以降年平均成長率7.2%~7.9%で成長してきました。2022年の市場規模は2180億バーツ（約9000億円）に達しています。

中でも注目すべきは現在では市場の28%を「中所得層にも購入可能な高価な製品」への需要が占めていることです。この中所得層はタイ国内でも拡大中の所得層であり、今後もこういったいわゆるミドルハイエンド製品の需要が増加していくと考えられます。また、タイの消費者はより健康を意識するようになっており、見た目をよくするだけでなく「健康に効果がある成分を含んでいるのか」も意識するようになってきています。例えばオーストラリアの化粧品企業G&Mの「PU'RE Papaya Care」という100%植物性自然由来の製品は市場で急激に拡大しています。

また、香水もタイ国内での売り上げが拡大しており市場規模は2023年現在、3億5000万ドルとなっていますが、2028年まで年率3.22%の市場成長が見込まれています。拡大する中所得層はより高付加価値の化粧品への消費を増加させると考えられます。

そのほかにコロナ禍で顕在化した大きな特徴として、セルフケア用品の需要があげられます。家で過ごす時間が増加したことから、個人の美容と健康への関心が高まった事が要因とされています。タイ国営クルンタイ銀行のシンクタンク、クルンタイ・コンパスの最新レポートによれば、化粧品市場のうち、スキンケアが41%で最も大きなシェアを占めています。その後ヘアケアが16%、メイクアップが12%、口腔ケアが12%、バス・シャワーが9%と続いています（2022年）。これらのデータからも、肌へのケアが特に重要視されていることがうかがえます。



最後にタイならではの特徴として、国内生産品が市場の85%を占め、国産の製品が広く支持されていることがわかります。更に国内で生産された大部分（生産額の72%）が国内で販売されており、輸出分は生産額の28%となっています。

大阪産業局 タイビジネスサポートデスク

株式会社 NC ネットワーク(タイ: NC BIZ CENTER (THAILAND) CO., LTD.)

日本事務所：東京都台東区東上野1丁目14番5号 ユーエムビル8階

タイ事務所：142 Two Pacific Place Unit 1101 11F, Sukhumvit Road,
Khlongtoei, Khlongtoei, Bangkok 10110 THAILAND